

(令和2年11月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	１１月は、時化や、秋さけ・ぶり等の水揚げ減少により鮮魚の入荷量が減ったことから、総入荷量は前年同月比で１０％下回った。総取扱金額は、水産物全般で需要の伸びがなかったことから前年同月比で１１％下回った。 １２月は水産物の需要が高まる時期である。今年は養殖のまい、ぶり等が順調に生育していることから、単価は前年より下回る見込みである。いくらや、塩かずのこの入荷量は前年を下回り、単価は原料が高騰していることから上回る見込みである。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で１２％下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ホテル等飲食店の需要が低迷したことから７％下回った。 品目別には、さけ、さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。まぐろ、たらの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で１２％下回ったが、単価は需要の伸びが見られなかったことから前年同月並みとなった。 品目別には、冷さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は輸入物の冷銀さけが入荷量の増加により値下がりしたことから下回った。冷えびの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は９％上回った。 品目別には、ゆでせこがにの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。すけそうこの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月並みとなったが、単価は需要が低迷したことから前年同月比で6％下回った。
ま い わ し	三重，鳥取，静岡で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で49％下回ったが、単価は小型物主体の入荷であったことから16％下回った。
さ ば	韓国，新潟，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で11％下回ったが、単価は小型物主体の入荷であったことから14％下回った。
す る め い か	宮城，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は水揚げの増加により前年同月比で668％上回り，単価は11％下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で11％下回ったが，単価は需要が低迷したことから7％下回った。
ぶ り	鹿児島，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で30％下回ったが，単価は需要が低迷したことから9％下回った。
さ わ ら	鳥取，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で18％下回り，単価は8％上回った。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば 冷 す る め い か (加工水産物) 塩 さ け 塩 か ず の こ	入荷量は前年同月比で３８％上回ったが、単価は国内物が入荷が増加したことから３％上回った。 生鮮するめいかの順調な入荷が影響し、入荷量は前年同月比で２４％下回ったが、単価は需要が低迷したことから２７％下回った。 入荷量は前年同月比で１２％下回ったが、単価は需要が低迷したことから６％下回った。 入荷量は前年同月比で１８％上回ったが、単価は原料価格の値上がりにより６％上回った。